

No.7221 小銭入 7×12cm 内側にポケット1つ。 本体価格 5,800円+税



No.7222 札入 11.2×9.5cm 内側にボックス型に開く小銭入付き。 ほか札入2つ、カードポケット3つ、ポケット6つ。 本体価格 19,000円+税



No.7223 札入 14×10cm 外側のファスナー式小銭入は両面がポケットになった中仕切り付き。 ほか札入2つ、カードポケット10、ポケット3つ。 本体価格 25,500円+税



No.7224 東入 10.2×20cm 外側にファスナー式小銭入付き。 内側に札入1つ、カードポケット16、ポケット3つ。 本体価格 24,500円+税









No.7226 ポーチ 11.2×19cm 内側にポケット1つ。 本体価格 11,000円+税

○甲州印伝は、日本を代表する革工芸品です。色染めの鹿革に色漆で模様をのせる漆付け技法や更秒技法などを併用して多彩な伝統美、現代美をお届けしています。軽く 丈夫で、優しく手になじむ風合いが特長です。○甲州印伝は「経済産業大臣指定伝統的工芸品」に指定されています。○印傳屋の製品には保証マーク 命がついています。

○本漆は時がたつにつれて冴えてきます。○漆部分は強く折り曲げたり、硬いものと接触すると、部分的にはがれることがあります。○革は染色の度に色鯛が多少異なる場合があります。○当社の製品は、主な材料として鹿革を使用していますが、デザイン・機能に応じて一部牛革などを使用しています。○カタログの写真は印刷のため色鯛に実物との差が生じることがあります。○製品のサイズ表示はタテ×ヨコ×マチを cm単位で表示しています。なお、採寸方法により多少の誤差が生じる場合があります。○掲載写真の大きさは統一した縮尺となっておりませんので、実際のサイズについてはサイズ表示をお確かめください。○製品の改良によりデザインが多少変わる場合があります。○印伝製品は、「革色」「漆色」「柄」の3つの組み合わせで構成され、しかも手作りのため、品切れの場合があります。その際はお届けまでに相当の日数がかかりますのでご了承ください。○無断の使用、複製、模倣はかたくお断りします。使用の場合は、事前に当社にご連絡ください。○フロニティの名称と柄は、商標登録・意匠登録出願済です。

※表示価格は、2019年9月現在のものです

谷即傳屋

本体価格 27,500円+税

Flonity®



Flonity®

百年咲き。

藤、菖蒲、菊など、 四季折々の花を伝統の技法、 更紗と漆で咲かせた印傳屋の オリジナルブランド。 季節を越えた百花繚乱の艶やかさを、 ずっとその手に。



No.7202 セミショルダー $23 \times 33.5 \times 7$ cm 口前はファスナーです。 肩紐は調節機能付きでショルダーにもなります。 ポケット: 外にファスナー1つ。 内にファスナー1つとオープン2つ。 本体価格 57,000円+税



No.7206 ボシェット 18.5×24×6cm 口前はファスナーです。 ボケット:外にファスナー1つとオープン1つ。内にファスナー1つとオープン1つ。 本体価格 45,000円+税



No.7209 手提げ 22×30.5×11cm 口前はファスナーで両アオリポケットが付いています。 ポケット:外にファスナー1つ。内にファスナー1つとオープン2つ。 本体価格 62,000円+税



No.7203 セミショルダー 17×33×11cm 口前はファスナーで両アオリポケットが付いています。 ポケット:外にファスナー1つ。内にファスナー1つとオープン3つ。 本体価格 62,000円+税



No.7205 ポシェット 16×27×5.5cm 口前はファスナーです。 ポケット:外にファスナー1つとオープン1つ。内にファスナー1つとオープン2つ。 本体価格 42,000円+税



No.7207 手提げ 18.5×31×10cm 口前はファスナーです。 ポケット: 外にファスナー1つ。内にファスナー1つとオープン2つ。 本体価格 47,000円+税



No.7208 手提げ 26.5×34.5×7cm 口前はマグネット止めです。 ポケット:外にファスナー1つ。内にファスナー1つとオープン4つ。 本体価格 60,000円+税



「フロニティ」の材

更紗と漆の技法で折り重ねた花々は全7種。 古来より日本で親しまれてきた椿、梅、桜、藤、牡丹、菖蒲、菊の模様を、紺地にシックな紫の 更紗の濃淡で色づけしました。錦絵のような 華やかさのなかにも、落ち着いた雰囲気を漂わ せる艶やかなデザインです。

Flonity: "flower"(花)と"eternity"(永遠)の文字を取り、融合させたもの。四季の花々の美しさを、ずっと感じてほしい。花弁のひとつひとつに、そんな願いをこめました。